

高 明 訓 同 窓

新潟明訓高等学校同窓会・会報

発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会 長 渡 辺 惇 夫

2021
100th
anniversary

綱 領

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

ご 挨拶

―母校の創立百周年を
迎えるに当たって
更なる飛躍を―



同窓会長
渡 辺 惇 夫

秋も日増しに深まり紅葉の季節を迎える頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には日々ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察し心からお喜びを申し上げます。

また常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の更なる発展向上のために温かいご理解とご協力をいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

ご承知のように我が同窓会も母校が歴史を重ねる毎に多数の会員を擁することとなり、その活動実績を年々積み上げながら存在感を増しつつありますことは我々の大きな喜びであり励みともなり誇りでもあります。

今後我々は多くの諸先輩各位が築いた輝かしい足跡と実績、そして母校の歴史を物語る建学の精神を大切に継承しながら卒業生としての誇りを持ち同窓会と母校の発展のために努力をしていかなければなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正十一年に創立以来、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねながら今日に至っており、二年後の令和三年には記念すべき創立百周年という大きな節目を迎えることとなります。そこで過日この周年記念を大きく意義あるものとして位置づけるとともに、将来の明訓高校の発展に繋げる事業展開を実施するために「創立百周年記念事業実行委員会」を学校ご当局、保護者会及び同窓会の三者合同で立ち上げ、現在鋭意準備中であります。我が同窓会としてもこの周年事業の推進と成功のために今後も勇往邁進していかねばなりません。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍をしておられます。この多くの皆様から母校の現況等を更に知っていただくとともに多くの関心も持っていただき、互いに同志的意識を高めながら協力体制を確立する必要があります。そして目前に迫った創立百周年記念事業の成功と母校の発展に資するとともに、なお一層の同窓会の活性化と発展にも繋げていかなければなりません。

今後共同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後に今後の母校のますますの発展と、同窓会員の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げご挨拶といたします。

健康と食生活



理事長

伴 昭彦

同窓会員の皆様には益々御元気で御活躍のこととお慶び申し上げます。

健康を維持するのに極めて重要なことは「正しい食生活から」と日野原重明先生「故人・聖路加病院長」はおっしゃっております。

医療の世界では、医師の診断や医療技術、看護のあり方などが主として問題にされ、日常生活習慣や食生活がどうあるべきかということとはあまり問題とされませんでした。人は一生のうちで何回か大きな病気や怪我をすることがありその時の個々の医療を本当の医療だと思っておられると思いますが、それは医療の一部にすぎないということです。医療は三次医療（手術を必要としたり研究の対象となるような難病など）、二次医療（その下の専門医の働く病院の治療）、第一次医療（二次医療以下の風邪や腹痛などの治療）とに分けられるでしょう。そして、一次医療の治療をおろそかにすると二次医療へ進むこともあります。だからそういう意味でプライマリケアと言って一次医療が重要視されるようになって来ました。更にそのふもとは、自分の健康は自分で管理する「セルフ・ケア」を必要とするようになりました。

高血圧、脳卒中、糖尿病などは遺伝ではなく悪い習慣の積み重ねで作られた病気であることがわかって来ました。肥満や多くの心臓病、肝炎、肝硬変、慢性気管支炎、

肺癌などもそうで、「成人病」と呼ばれますが、日野原重明先生は「習慣病」と言っておられます。心臓病、高血圧、糖尿病は動物性脂肪や甘いものを多く食べる人に多いのですが、このように血管に脂肪やコレステロールが詰まって病気を引き起こしては遅いので、若いうちから食べ物を選択し、成人病を作らないようにしなければならぬ、と日野原先生はいわれます。塩・砂糖・動物性脂肪をうんと控えるようにすることですので、皆様も充分御留意の上、今後も御健康で活躍下さい。

ご 挨拶



学校長
中 山 道 夫

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格段のご理解とご協力を賜っておりますことにまずもって感謝申し上げます。

今年度の新潟明訓は四月五日の始業式を経て、八日には高等学校三七一名、中学校一二〇名の入学を許可し、高校一、一〇八名、中学校三六二名、生徒総数一、四七〇名でスタートを切りました。これまでのところ学習面、部活動の状況等について、おおむね順調に推移していると考えています。

別途報告させていただいておりますように、今春の進学状況は北海道大学や東北大学、東京工業大学などの国公立大学、新潟大学や自治医科大学などの医学部医学科、早稲田大学や慶應義塾大学をはじめとする難関私立大学に多数の合格者を出しております。

また、部活動等においても、陸上競技部、弓道部が夏のインターハイに出場し、ダンス部が全国大会で特別賞を受賞したほか、三月に香港で開催されたアジアユース陸上選手権大会では男子ハードル競技で銀メダルを獲得、八月に中国で開催された国際大会にサッカー部が日本代表として派遣されるなど、海外でも活躍してくれています。

運動部以外の活動においても、複数の部活動が全国高校総合文化祭に、吹奏楽部も西関東大会に出場するなど成果を上げています。また、全国の名だたる高校が参加して開催される「全日本高校模擬国連大会」にも七年連続で出場するなど、明訓ならではの文武両道を体現してくれています。

二年後には創立百周年を迎えることとなりますが、これまでの百年を振り返りつつ、これからの百年を見据えた学校運営に取り組んでいきたいと考えています。引き続き、会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 明訓同窓会本部総会

平成30年度新潟明訓高校同窓会本部総会は平成30年10月27日(土)午後4時から「ANAクラウンプラザホテル新潟」で開催されました。

ご来賓に中山道夫校長をお迎えして、首都圏新潟明訓会からは星野幹事、関西新潟明訓会からは本間会長が出席され、今年も大学3年生を13名ご招待して総勢135名での開催となりました。

総会は渡辺会長の挨拶で開会して、ご来賓の中山道夫校長からはご祝辞と母校の近況報告をいただきました。その後、1号議

案から4号議案までの議案が審議、承認され総会は無事に閉会となりました。休憩を挟んで午後5時からのアトラクションの部では、平成9年卒業、同窓生のソプラノ歌手・宮澤優子さんによるソプラノコンサートを堪能しました。宮澤優子さんは現在在住まいの愛知県名古屋市中から駆けつけていただきました。大変有難う御座いました。



恩師を囲んでの楽しい本部総会



懇親会も終盤となり、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、校歌斉唱、万歳三唱で締め、あつという間の2時間となりました。

その後、現在の北山の母校を訪問して渡邊淳一教師の案内で校内見学を行いました。

同窓会本部総会は毎年開催しています。日程等、詳細が決まりしだい同窓会ホームページに掲載していますので是非ご参加下さい。

第31回 首都圏新潟明訓会 総会・懇親パーティー 新潟開催

「平成30年度 第31回首都圏新潟明訓会総会・懇親パーティー」が平成30年4月7日(土)・8日(日)の1泊2日の日程で、「月岡温泉ホテルニューあけぼの」で行われました。

総会・懇親会の意義を留めた「母校明訓を訪ね満開の桜・新発田城址をめぐる」と題し、創立100周年(2021年)を目指し新たな明訓同窓の絆を深める大切な機会となるようにと企画されました。また、今回は首都圏新潟明訓会設立30周年の記念の年でもあり、

発展した母校を訪ね、後輩を応援しよう、と、例年の東京開催ではなく、新潟で開催されました。7日の開会前には、新潟駅に集合して川岸町の校舍跡を訪れ



新潟で行われた首都圏明訓会

関西新潟明訓会 平成30年懇親パーティー

関西新潟明訓会平成30年懇親パーティーは平成30年10月20日(土)午後1時から大阪駅直結の「ホテルグランヴィア大阪」21階で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏新潟明訓会からは村上副会長が出席。新潟明訓高校からは昨年に引き続き中山校長と渡邊教頭が出席され総勢16名での開催となりました。

本間会長の開会挨拶で会はスタートし、ご来賓の紹介。中山道夫校長からはご祝辞と母校の近況報告をいただき、今年も明訓中学校の生徒が育てた「明訓米」をお土産として頂戴しました。その後、安城顧問の乾杯のご発声で懇親会となり、一年振りや、久々の再開にグラスを交わし近況等を語り合い、恒例となった新潟県産品のビンゴゲーム、校歌斉唱と、あつという間の2時間半となりました。



出席者全員で記念撮影

今年から学校のご厚意により、今春3月卒業の皆さんに関西新潟明訓会の紹介文を配布して頂き、関西圏の大学に進学される卒業生に連絡先の登録をお願いしました。登録いただいた方もいらっしや

いましたが、残念ながら、今年の大学生の出席者はありませんでした。

関西圏にお住いの同窓生・学生の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。

連絡先：(事務局) 阿部邦義

090-5902-2993

明訓高等学校より報告 グローバル教育の取り組み

MeGA2 (エンパワーメントプログラム)

今年で7回目となるMeGA2 (Meikun Global Activity 2) を、7月23日から27日までの5日間、本校を会場にして行いました。このプログラムは、社会における様々な問題を知り、その解決法の模索を通じて広い視野で考える力を身につけることや、

自分の考えを持ち、それを英語で伝える力の育成を目的としています。今回は中高一貫生100名と高入生29名、合計129名の高校1年生が参加し、環境問題などの事柄について話し合い、スピーチやプレゼンテーションを行いました。

プログラム初日の生徒たちは少し緊張した面持ちで、英語で自分の考えを伝えることにためらいや不安を感じている様子でした。しかし生徒5、6名に対し1名の外国人大学生がグループリーダーとして加わり、話しやすい雰囲気を作ってくれたので、生徒たちも次第に英語でコミュニケーションを取れるようになっていき、最終日には英語で話せる喜びと自信に満ちあふれた表情を見せてくれました。プログラム終了後も生徒たちはグループリーダーたちとの別れを惜しみ、英語での話が絶えないほどでした。

5日間という短い期間でしたが、このプログラムを通じて生徒たちが得た経験や自信は、英語の学習だけでなく今後の人生においても生徒たちを支え、勇気づけ、前進させてくれることと思います。生徒たちのこれからの活躍に期待しています。



参加者全員で記念撮影

MeGA3 (コース選択型海外研修)

Meikun Global Activityの3は、Overseas training (海外研修) として、平成27年度より現行のコース選択型の形式となりました。4回目の実施となる今回は、平成31年の3月2日から10、12日間の日程で行われ、高校1年の一貫生97名全員と、高入生の希望者72名の総勢169名での参加となりました。研修先として、①ボストン・ニューヨークコース、②サンフランシスココース、③シカゴ・ボストンコース、④カナダコース、⑤オーストラリアコース、⑥東南アジアコース(シンガポール・マレーシア・ブルネイ)の6コースに分かれて、各地域や都市の特色を生かした学びを得てきました。現地での貴重な時間や機会をフル活用するべく、10月から事前研修を始め、週1回のグループワークを並行して行うことで、研修先に対する興味・関心を育ててきました。また、現地の文化や歴史、特徴を調べてプレゼンテーションするという活動は、仲間意識や連帯感を養い、全員で乗り越え、成長するという意識を共有することにつながったのだと思います。

現代社会は、ボーダレスに人・モノ・情報が高速度で行き交う未曾有の時代です。日本という、良くも悪くもComfort Zone (自分にとって居心地の良い環境) から外に出て、グローバルな社会を目の当たりにするということは本校のグローバル教育における主眼となる内容です。ステイプーIIジョブズは、「旅の過程にこそ価値がある」と言いました。快適な日本からあえて飛び出し、日本では感じるのではない言葉の不

自由さや、不便さ、緊張感に苦労しながら、それを受容し、適応し、成長する。多大な経済的負担や、時間、労力をかけてでも海外研修を行うことの意義は、そうした過程にこそあるのです。様々なアクシデントを乗り越えながら、生徒たちはよく協力し、努力し、大いに刺激を受けながら研修を進めることができました。帰国後も、報告書に自身の経験をまとめ、来年度の参加予定者に対して申し送りを作成するなど、最後まで自主性を刺激しながらの研修が行えたと思います。

MeGA3は、どのコースにもそれぞれの特徴がありますが、そこに共通するのは、「世界で活躍し、社会に貢献できる人間になる」べく、「知見を広げ、異文化を理解し積極的に交流する姿勢を身につける」ことです。私たちは、一歩日本から出れば、他国において外国人になってしまいます。そして、そこでは自発的に意志のやり取りをしようとしなければ他国の人は相手にしてくれないという現実があります。これは頭で理解することではなく、自らの肌で感じ、心で悟るべきことです。MeGA3に参加した彼らがこの経験を糧に、さらに努力を重ね、成長し、有為な人間へと成長してくれることを願っています。



ボストン ニューヨーク コース

学校教育田での活動は、今年で6年目を迎えました。

今年は5月22日に田植え、9月20日に稲刈りが行われました。田植えは中学1・2年生が、稲刈りは中学1・3年生が担当しました。

田植えでは、例年のことですが、やはり泥の感触や冷たさに歓声とも悲鳴ともつかない大きな声のいたる所から上がり、この季節の明訓の風物詩になってきたことを感じました。

稲刈りでは、ここ数年は、降雨により泥沼状態の田んぼでの作業となることもあったのですが、今年は晴天が続き、乾いた田んぼでスムーズに行うことができました。楽しそうに生徒たちは作業を行っていました。今年もいいお米になっているようです。今年も収穫祭が楽しみです。

明訓中学校より報告

田植えと稲刈り実施



中3 稲刈り



中2 田植え



中1 稲刈り集合写真

★学★校★案★内★

進路指導部

難関国立大13名合格
医学科現浪5名進学
最近の入試状況と本校の概況

全国の入試状況

平成31年度大学入試センター試験は、国語の平均が前年より17点アップ、英語リスニングの平均が8点アップしました。そのため、国立型900点満点の平均は、文系では16点アップの570点に、理系では12点アップの576点となり、文系、理系とも平均点アップとなりました。

国公立大学入試は、2次試験出願数が47・0万人と対前年で0・4万人増となり、志願倍率4・7倍となりました。

私立大学入試は、一般入試の志願者数が前年より約5%増加しました。

本校の入試状況

本校のセンター試験の結果は、文系では580点、理系582点となりました。

合格数は、現役では、国公立大学166名合格となりました。北海道大7、東北大5、九州大1、早稲田大6、慶應大4、上智大1、自治医科大学1など難関大学合格者数も、コース問わず健闘しました。また、医学科は現浪合わせて国公立へ3名進学、私立へ2名進学しました。

生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前の学習（予習、授業、復習）を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。

現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っています。

過去5年間の合格者推移

国公立大学	2015		2016		2017		2018		2019	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
北海道	3		7	2	2	1	4	4	7	
東北	2		8		1		3		5	2
山形	2	1	4	2	2		8		6	1
福島	4		1				1			1
筑波	4	1	5	1	2		3			
埼玉	2		6		2	1	1		4	3
千葉	1		4	1	2	1	1			2
お茶の水	1						1			
電気通信	1	1	3		2	1	1	1		
東京	2	1	1	1						
東京学芸	3		2	1	2	1	1		4	2
東京外国語	1	1	1		5		3		3	
東京工業	1		1			1				2
一橋										
横浜国立	2		4		2		2	1	2	1
新潟	58	5	67	9	33	17	44	10	70	9
長岡技術科学	1		1		1			1	4	
上越教育			1	1		1			1	
富山	2				1	1	2		4	3
金沢	4		2		1	1	3		3	
信州	2	1	3	1		1	3	1	1	
名古屋	1		1		2					1
京都	1					1		1		
大阪			1		2					
九州			1						1	
高崎経済	8		3				3	1	2	
首都大東京	1	1	2				1		3	
横浜市立	1		1	1	1		2		1	
新潟県立	21	1	24	1	15	3	15	2	15	2
新潟県立看護	3		2		3		2		4	1
その他	16	4	33	1	25	4	20	8	26	0
小計	148	17	189	22	106	35	124	30	166	30
国公立合計	165		211		141		154		196	

私立大学	2015		2016		2017		2018		2019	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科			2				1	1	1	
早稲田	8	3	8	4	10	3	4	7	6	3
慶応	2		9	1	2	1	3		4	3
上智					3	3			1	
東京理科	6	3	5	2	11	7	6	14	6	11
明治	11	4	12	1	12	5	10	1	17	4
立教	4		7	1	5	2	8	3	12	4
青山学院	6		9	2	6	2	6	1	5	5
中央	17	7	27	10	21	7	13	2	9	1
法政	17	8	12	1	22	3	16	1	15	7
学習院	4	1	5		5	2	4		6	2
東京農業	5	5	7		2	1	7	1	9	
津田塾			2		6		2		4	
国際基督教	1				1		1		1	1
北里	1	2	2		1	1	5		6	1
芝浦工業	5		6	1	11	3	3	9	4	6
成蹊	4	1	2		2		3	1		
成城	4	1	2	1	2	1	6			2
日本	40	9	29	9	27	3	26	15	23	10
東洋	21	3	28	5	23	5	25	6	17	5
駒沢	22	3	15	2	14	2	12	8	7	
専修	12	9	16	3	16	4	18	2	11	5
明治学院	11	3	7		5	2	8		9	
獨協	10	1	4		2		9	1	5	
神奈川	13	3	11	1	8	2	6	1	6	1
新潟薬科	5	7	19	1	13	3	11	1	19	1
同志社	8	3	4	2	4	1	7	5	6	2
立命館	14	7	11	1	3		5	5	8	1
関西	2	2	2		1		1	3	1	2
関西学院	3	1	2		3		2	1	9	
その他	272	36	287	38	259	43	217	126	198	126
小計	528	122	552	86	500	106	445	126	425	131
私立合計	650		638		606		571		556	

平成31年度 大学入試 (現役)	東 京	京 都	北 海 道	東 北	名 古 屋	大 阪	九 州	東 工	一 橋	筑 波	難 関 大 合 計	医 国 学 公 立	早 稲 田	慶 應	私 立 医 学 科
合 計			7	5			1				13		6	4	2
I II IIIコース			5	2			1				8		4	1	1
IVコース			2	3							5		2	3	1

明 訓 祭

令和元年6月8日（土）開催

令和初めてとなる明訓祭が、6月8日（土）に開催されました。雨天にもかかわらず多くのお客様にお越しいただき、とても大きな盛り上がりを見せました。

今年の明訓祭のテーマは「#Meikun Palette」でした。このテーマには、新潟明訓100周年を2年後に控え、改めて生徒一人ひとりが「明訓生」としての自覚を持ち、自分たちの「色」で明訓祭を染めてあげてほしいという思いが込められています。また、その「色」を、自分の中だけで終わらせるのではなく全世界に発信してほしいという思いから、「#（ハッシュタグ）」が付けられました。

今年は新たな試みとして、各クラスがそれぞれのテーマ色に従い、「教室作品」「教室演劇」「映画」「ステージ」「屋外アート」の五部門で企画に取り組みました。また、中学校では「教室作品」「教室演劇」の部門で、協力し合い発表を行いました。

クラス企画の他にも、前夜祭恒例のリバティスクエア、高校1年生芸術選択者による発表、部活動紹介や演劇部、合唱部、ダンス部、吹奏



明訓大賞 3年9組

楽部、書道部によるパフォーマンス、OBを交えてのジョイントコンサート、などが彩りを添えてくれました。さらに今年からは、放送部による「明訓祭限定お昼の放送」がスタートし、参加者の耳も楽しませてくれました。



部門賞 3年5組

- ◎明 訓 大 賞 3年9組(映画部門)
 ◎部 門 賞
 ・教室展示 1年8組
 ・教室演劇 1年10組
 ・映 画 3年9組
 ・ス テ ー ジ 3年1組
 ・屋外アート 3年5組
 ◎奨 励 賞 3年7組
 ◎大 衆 賞 3年3組
 ◎C M 賞 3年2組
 ◎中学明訓大賞 3年C組 (教室演劇部門)

明訓というキャンパスに、色とりどりの個性あふれる企画を目にすることができ、100周年のその先を予感させてくれるようなすばらしい明訓祭となりました。
 今年度の受賞クラスは次の通りです。



合唱コンクール最優秀賞 1年1組・3組・8組



パネル一覧

感謝 — 雨の体育祭

令和元年9月3日（火）開催

体育祭実行委員長 囀口 亮介

今年の体育祭は時折の雨に見舞われながらも、なんとか無事に終えることができました。天候の悪い中、観客席から声援を送り続けていただきました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

今回の体育祭は練習期間中もほとんどが雨天となり、グラウンドを使った練習も満足にできず、予定練習も途中で中止し屋内に避難するという事態に陥りました。また運悪く学校が断水し、体育祭練習自体を行わず生徒を下校させるというハプニングもあり、運営にあたる生徒会の生徒たちも顧問も私也大いに不安を抱えておりました。

9月3日（火）当日も終日雨の予報。朝早くに、体育祭実施が延期かの判断をすることとなり、決定の直前まで生徒会長・各連合の連合長の思いを聞かせてもらいました。彼ら自身、また彼らの束ねる生徒たちは今日（3日）にかける思いが強く、多少の雨には負けられない、実施してもらいたい、という姿勢を見せてくれたため、思い切って実施する方

向に決定させてもらいました。

体育祭実施中にも雨が強く降ったり弱まったりあがつたりと、当初の日程をめまぐるしく変更・修正しながら、なんとか一日を乗り切ることとなりました。しかし、そんな中



部活動対抗リレー

でも臨機応変に行動し続けてくれた生徒会の生徒たちには本当に感謝しています。彼らは多くの時間をこの日のために費やしてくれ、少しでもよいものを提供できるように様々な面に配慮しながら継続して準備を行ってきました。その結果、当日には何が起きても動じない強いメンタリティを備えていました。こちらの意図を汲んでくれ、滞ることなく進んできたのは彼らのおかげであると思います。本当にありがとうございます。また、各連合の連合長はじめ幹部の皆様へ、500人を超える大きな集団を練習から本番までまとめ上げてくれて本当にありがとうございます。大変な労力だったと思います。そのおかげでグラウンドは大いに盛り上がりました。そして全校の生徒へ、雨の中でも仲間へ大きな声援を送り続けてくれてありがとうございます。各競技の選手はその声でちゃんと背中を押され、力強いパフォーマンスを見せることができました。

少し遅かったのですが、こちらの強い思いがようやく空に届き、閉会式だけは晴れ間が見えました。悪天候を乗り越え、生徒の間にも強い一体感ができ、とてもよい雰囲気の中で閉会することができました。関わっていただいたすべての生徒、先生方、保護者の皆様へ感謝をこめて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



騎馬戦



総合優勝 赤連合

令和元年度 部活動報告

陸上競技部

インターハイに入賞して

陸上競技部 曾我賢太郎



この夏に沖縄県で行われたインターハイにおいて、男子一〇mハードルで第八位に入賞しました。

今シーズンは三月に香港で開催されたアジアユース陸上競技選手権大会において念願の日本代表として出場し、例年より一ヶ月以上も早いシーズンインとなりました。冬期から、合宿や海外遠征を重ね、この大会では第二位に入賞し、自分にとっても満足のいく銀メダルを獲得することができました。

しかしながら、インターハイ路線の大会で行うハードルの規格は、アジアユースよりも一五cm以上も高く、ハードルを越えるために必要な重心を引き上げる動作が上手くできなくなり、苦戦しました。さらに追い討ちをかけるようにインターハイまでには様々なアクシデントもありました。

県総体では、ハードルの決勝直前で足の痙攣に見舞われるなど、次の大会に進めぬか進めないかの瀬戸際で、精神的不安も抱えながら走り、なんとか北信越総体の切符

を手に入れました。さらに、今度は北信越総体の前に怪我をしてしまい、大会中は痛みと戦いながらのレースとなりました。インターハイの出場権は得たものの、満足のいく走りができず、悔しさと辛さが込み上げてきました。負けたくないから練習を積まないといけない。その思いから練習がでない焦りと不安に押し潰されてしまいそうでした。そんな中でも先生や仲間、家族は「諦めるな」「お前ならできる」と励ましてくれ、ネガティブになつていた私を救ってくれました。今の自分に出来ることを必死に取り組もうと覚悟をさせてくれました。

そして迎えたインターハイ。本校から六競技の一三名が出場権を勝ち得ていました。それぞれの競技でベストパフォーマンスを発揮することが出来たにもかかわらず、惜しくも予選で敗退したり、僅かな差で入賞を逃してしまったりと、インターハイの厳しい戦いを目の当たりにしました。私の競技は最終日で、チームメイトは悔しい思いをした中でも、緊張している私を和ませてくれたり、一生懸命サポートしてくれました。ここまで支えてもらったので絶対に勝って恩返ししたいと思いました。

そして競技当日。集中していたこともあり、不思議と足の痛みを感じることなく予選を難なく通過し、勝負の準決勝。スタートから流れを作ることができ、イメーজ通り、決勝に進出できる二着を確実なものとし、最終ハードルを越えることができました。しかし、その直後、ゴール寸前で足がもつれてしまい、転倒をしながらの捨て身で二着に飛び込みました。その影響もあって、決勝ではまさにスタートする直前の練習の際に膝が抜けたような感覚と痛みに見舞われ（膝の靭帯損傷）、完走す

るのが精一杯で第八位に終わってしまいました。

今シーズンは特にインターハイで全国制覇をするために、冬場から過酷な練習をしてきたので、この結果は本当に悔しいです。しかしながら、期待に応えられない不甲斐ない私に、最後まで諦めず指導してくださった金子先生、ここまでサポートしてくれた仲間や友達、家族には感謝の気持ちで一杯です。次こそは必ず全国優勝を果たして恩返しできるよう、怪我を治して練習に励みたいと思います。

ダンス部

全国大会を終えて

ダンス部主将 3年 本間 郁美



私たちダンス部は、8月6日～9日に行われた第32回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）において、作品「乾いたところへ」を上演しました。全国から90の高校が集まる中、ベスト8に相当する特別賞を受賞し、7年連続の全国入賞を果たすことができました。

この作品は、相手の気持ちを感じ取ることの難しさから、考えることをやめた「乾いた心」をテーマとしています。作品を創

るきっかけとなったのは、チーム内での衝突でした。良い作品を創りたい、良いチームにしたい、目標は同じはずなのに1人ひとりの考え方の違いから心がバラバラになつてしまいうになりました。さらに、自信の無さから誰かに責任を押し付け、心無い言葉で仲間を傷つけてしまったこともありました。そんな情けない自分たちに気づき、見つめ直したいという思いからこのテーマを選びました。乾いた心と向き合い、苦悩しながらも「相手の心に寄り添える人でありたい」「心で感じ合いたい」そんなチームの思いを作品に込めています。練習の中で私たちは、敏感で繊細な人の心を丁寧に表現することにこだわり、相手を感じるとは何かを本番直前まで追求し続けました。それが、踊る自分自身の心や見ている人の心を動かすこと、何よりも部員全員で踊れる喜びに繋がったと思います。また、今回の創作活動の中で、特に力を入れてきた点は、小道具の使い方です。乾いた心を表現するために、茶色のクラフト紙を用いました。紙が舞台一面に広がる様子や、パサパサとした質感や音を効果的に使用し、紙の特徴と私たちの心情とを重ねています。その演出が評価され、演出効果の工夫に対して送られる特別賞を受賞できたことは、大変嬉しく、私たちの自信にもなりました。

昨年の全国大会では、入賞は果たしたものの自分たちの満足できる結果が得られず、悔し涙を流しました。今年はその結果を真摯に受け止め、力に変えてきました。だからこそ、チーム一丸となって困難を乗り越え、素晴らしい賞を頂けた時の喜びはとて大きなものでした。そして、その喜びと同時に、この結果に恥じないチーム、人で

あり続けたいと決意を新たにしています。

日頃、私たちが思う存分活動に打ち込めるのは、多くの方々の支えがあつてこそだと感じています。ご指導くださる先生や先輩方、応援してくれる家族や友人、そして、いつも見守ってくださる地域の皆様など全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのご声援、本当にありがとうございます。今後とも、新潟明訓高等学校ダンス部を宜しくお願い致します。

弓道部

2019 全国高校総体に出場して

弓道部顧問 長井 大輔



弓道部は、6月の県大会で女子団体と男子団体、女子個人の三種別で優勝し、南部九州総体の出場権を得ました。女子個人は6年ぶり、女子団体は4年ぶり2回目、男子団体は創部初、しかも団体男女アベックでのインターハイ出場となりました。

インターハイは、8月7日(水)～10日(土)まで、宮崎県都城市の早水公園体育文化センター特設弓道場で行われました。

結果は、女子個人が予選4射2中、男子団体が予選20射11中と、共に【一本】に泣

き、惜しくも予選敗退してしまいました。

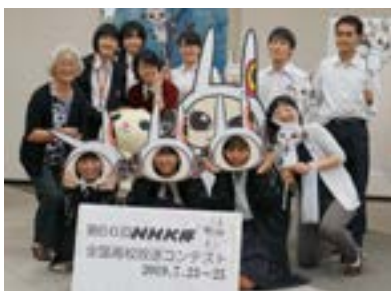
しかし、女子団体が奮闘し、予選を20射13中で通過し、上位32校まで進出しました。そして決勝トーナメント1回戦で沖縄代表の小禄高校と対戦し、10-14で敗退してしました。

結果は残念でしたが、選手たちは全国という晴れ舞台で、明訓の弓を存分に発揮できました。ここに至るまでにご支援を賜りました多くの方々に、心より感謝申し上げます。

放送部

全国大会に出場して

放送部顧問 梅田 愛子



放送部はこの夏、二つの全国大会に出場しました。

一つは、第四十三回全国高等学校総合文化祭佐賀大会です。この大会には、朗読部門より三年生の岩城日向子が、アナウンス部門より三年生の田崎詠里子・二年生の平野杏采が

出場しました。

もう一つは、今年で二十六年連続出場となる第六十六回NHK杯全国高校放送コンテストです。この大会には、朗読部門より三年生の岩城日向子・二年生の平野杏采が、アナウンス部門より三年生の田崎詠里子・二年生の斎藤優佳が、ラジオドキュメント部門より三年生の佐藤智紀が中心となり、

本校合唱部を題材に制作した『スター・マウンテン』が出場しました。このうち、アナウンス部門の斎藤優佳が準決勝進出を果たしました。準決勝に進むことができたのは、全国からエントリーした計3,641名のうち上位60名です。朗読アナウンス部門での上位入賞は本校では2年ぶりとなりました。

入賞した斎藤さんは、出場した過去2回の新潟県予選でも入賞経験がありました。2大会とも次点にあたる奨励賞でした。そうしてあと一歩のところまで全国大会出場を逃すという悔しい経験をしたことこそが、彼女自身をさらに奮起させ、今回の全国大会準決勝進出に繋がったようです。高い集中力と、広い音域を生かした豊かな表現力を持つ斎藤さんが、これからどんなニュースを発見し、どんなふうに発信していくか楽しみです。

現在、明訓放送部は1年生14名、2年生9名で活動しています。秋に引退した3年生から「皆で引っ張る放送部」という願いを託された新体制です。それぞれに思い描いている構想をなんとか形にしようと試行錯誤の日々ですが、この頃は、部員一人一人が持っている武器にさらに磨きがかかってきたように思います。発想力に富んだ人、感受性豊かな人、機転が利く人、メカに強い人、聞き上手な人、夢を抱く人、誰かの力になりたい人、底抜けに明るい人、人知れず一人倍努力する人……。それぞれの強みをこれからも大切に育てて、皆で最高の放送部を作ってくれることを顧問としても願っています。

最後になりましたが、全国大会出場に際しまして多くの方々からご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。伝

統ある明訓高校放送部の名を全国に響かせることができるよう、感謝の気持ちを忘れずにこれからも精進して参ります。

文芸部

2019 さが総文祭を受けて

文芸部 吉田 早希



昨年度の「新潟県高等学校文芸コンクール」にて、文芸部3年(当時2年)の吉田早希が散文部門で優秀賞に選ばれ、全国総合文化祭参加への推薦をいただきました。そして、文芸部門新潟県代表の一人として、令和元年7月29日～31日の3日間、佐賀県伊万里市にて行われた全国総合文化祭「2019さが総文」の文芸部門へと参加してきました。

初日の文学研修では佐賀の史跡を巡りました。焼物の里・大川内山、名君鍋島直正をはじめとした佐賀藩の歴史を伝える佐賀城本丸歴史館、日本赤十字社を設立した佐賀の天才・佐野常民の人生を知ることができ、佐野常民記念館、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである三重津海軍所跡などを訪れました。とくに三重津海軍所跡では、「みえつスコープ」というヴァーチャルリアリティ体験の出来る機械やプラネタリウムのようなドーム型

スクリーンなどで、高いクオリティの3D映像から佐賀の歴史を「体験」して知ることができ、とても興味深かったです。

二日目部門別研修会では、講師に招かれた作家の白石すみほさんの講義を受け、即興創作と事前に提出した各々の作品の批評をしました。完成度の高い作品が揃うなか、ときには厳しい意見もあり、有意義な研修となりました。また最終日の記念講演会では、天折の歌人・笹井宏之さんの短歌について、同じく歌人の東直子さんからお話しいただきました。

佐賀という新潟とは全く異なる地で、全国有志ある仲間と交流し作品についての意見交換をすることで、多くの刺激を受けることができました。作家として活躍される先生のお話や指導は、こういった場でしか受けられないもので、創作活動への意欲を掻き立てられました。

昨年度の信州総文祭に続き今年度も、先生をはじめとする多くの方のご協力とお力添えがあって、以上のような有意義な機会を得ることができました。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度は新潟で第34回国民文化祭が開かれますので、文芸部員一同、この文化の波に乗って今後も創作活動に動んでまいります。

書道部

全国総文祭に参加して

書道部 三年 渡邊 開

私は、今回全国大会に出場し、自分の知見を大いに広げることが出来ました。そして大会中、最も有意義だったことは、全国の数多くの学校の生徒や先生に出会って、



様々な交流が出来たことです。やはり、書道にかけける思いが人一倍強い人たちが集まっていました。

講習会では、多くの先生からご指導を賜り、客観的な視点から自分の作品について考えることが出来ました。大会は、単に優秀を争うだけではなく、数多くの作品を鑑賞し検討し合うことで次に繋がる学びを得る良い機会でした。

そして、交流会の際、私は隣に座っていた千葉県の生徒と仲良くなり、色々な話をしました。その時彼女は、

「書道が好きで、いつも友達と一緒に書いているよ」

と話していました。この時、彼女のように、仲間と同じ目標を掲げて努力することが部活動をする上で一番意味あることなんだと考えました。というのも、部活動を頑張る意味は単に書道を上手になるためだけでなく、様々な人と出会い、様々な価値観に触れ、人間関係を学ぶことにあると思います。単に人間関係を学ぶだけなら、もしかすると部活に入らなくても学校で集団生活を送ることで身につくかもしれません。しかし、クラスメイトの集団と部活動の集団で決定的に違う点は、「同じ目標」を持っているかないかということです。この「同じ目標」をもつことで、仲間と精神力を高め合

い、深い交友関係を築くことができます。部活動は、ひいては人間的にも成長できる機会を与えてくれるものなのです。

このように、私は、三年間書道部に所属して何事にも代えがたい経験を積むことができました。これからも人との出会いを大切に生きていこうと思います。この経験が私の人生できっと役に立つときが来ると思っています。

生物部

2019 佐賀総文祭を振り返って

生物部員 馬場 裕希



昨年度に行われた「新潟県高等学校自然科学系クラブ活動報告・研究発表会」において、馬場裕希（現在3年）が口頭研究発表部門（生物）の最優秀賞を受賞し、明訓高校生物部は今年度の全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。今年の全国大会は、令和元年7月27日から29日の日程で、佐賀県の佐賀大学で開催されました。

私たちは「ネジバナの巻き方の原因究明」クロン識別で分かったこととは？」というタイトルで発表を行いました。残念ながら入賞は出来ませんでした。全国的な舞台で自分たちの発表を行い、他校の生徒からアドバイスをもらうという貴重な経験をする事が出来ました。

同窓会ホームページと 交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com>

巡検研修では、中富くすり記念博物館と佐賀県立九州シンクロトロノ光研究センターを見学してきました。生薬の歴史について学んだり、実際の研究施設を見たりすることができ、とても興味深かったです。さらに、ニホニウムの合成に成功した、九州大学大学院理学研究院の森田浩介教授の講演会にも参加しました。研究に関する経験談を話して頂くとともに、その経験に基づいたアドバイスを頂くことができました。この全国大会を通じて、自然科学に強烈に惹かれた者同士が集い合い、言葉交わすという素晴らしい体験をすることができました。そこで得たアドバイスや、やる気を奮起されるような言葉は、今後の活動の原動力となること間違いありません。このような貴重な経験をすることができたのは、先生方をはじめとする多くの皆様のご協力とお力添えのおかげです。この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

深日野新中中寺寺田田田高高鈴佐佐笹櫻古小小木菊金小小大大白青 1組 (41名)
沼野澤田谷静崎尾村中中橋橋木藤藤川木俣林沼村盛子澤黒滝島杵木 全日制第70回 平成31年卒
瑞皇耀太奏みなみ里那文輝輔夏生一郎彌紘佳和妃起聖 大真哲 萌海すみれ

本細長長簡瀬眞須佐佐佐小加兼加落大大内市 2組 (32名) 渡渡山山村松増本細星古
多山澤澤井戸貝保藤藤藤木林倉納古藤合森谷山川 邊邊本崎木井井田貝 川
竜慶芽綾里 洸佳 仁信寛 亜辰知一晴明日香唯穂衣 隼佳美文菜光龍明芽
太郎花生音帆南仁史舞美彦和凜美太郎弥輝香唯穂衣 望輔乃季香子玲里生花衣

細祝古長長中遠包田田竹高高清重佐近神加加片石 3組 (32名) 渡吉吉横山山山森三本
木 川 川 川 津山 村中澤野杉水野藤 田藤藤桐井 五十嵐 邊村岡田田田山好間
夏真侑侑輝賢一麗梨美太真彩尚日舞真夕 唯一雪優 悠千佑 千菜あ響 和
野優樹香星崇喜奈華希斗志利夏志里佳希悠一郎乃希 人尋記涼美司介生希

成中永豊土竹竹高杉佐坂齋栗河風小岡大榎梅稲伊石 4組 (38名) 山山山山八宮怔本堀
田澤井田田舎中橋本野井藤林内間川村平本本田田藤田 田崎口口雲永木間
大七健大七 隼竜宏 勇俊 真え大尚衛義侑諒 千 航一慎あ智春亮
駿俊貴海登智海希輔雅惟進晶裕哉凜音り樹佳一房都祐 乃唯輝生之助み郁子奈太

平長長橋永虎富田田田高高鈴鈴佐佐佐近小窪亀金柏小伊池阿 5組 (38名) 渡渡渡渡吉山山諸水本本本西西
野谷谷村井澤樫中中中橋橋木木藤藤藤木藤林田山澤谷熊藤田部 邊邊辺邊荒村田田科間間山川
慧川 祥一榮友正晃麟珠 秀美舞 千汰佳真り真有大有ひかる優夏 光未こころ華瑠利奈爾生子美平葵士朗司
太仁舜現加充由康郎成郎理凜人帆夏要聡一央也さ希汰地優夏 裕来

星保樋林畑長夏中中鳥辻多鈴鈴鈴杉須白霜島佐小栗栗久申菊川春岡伊浅 6組 (36名) 渡渡渡吉由山矢本細笛
山科口 澤 川 目村野越川田木木木本貝井多本藤林原原保田地合日村藤田 部辺辺野野口野間谷木
功美俊萌々翔昂龍紗俊壮美梨麻由奏はるひ総鷹愛楓竜大あ綾瑞亮琉優洋 勇 晴真一大 夢成裕 康
太遥輔香太太太野英晴穂香子豪子か真一梨梨也輝ゆ瀬佳我偉作輔遼介 菜衣樹和凱唯龍郎優郎

8組 (45名) 吉吉山山矢諸松松長谷川中田高多五月杉澁篠佐小後小黒菊神神川川岡大太遠内石飯阿赤 7組 (36名) 渡矢宮松
田川崎岸板橋原井川山中賀女崎谷田藤林藤嶋井池林田崎合崎原田藤山田塚部木 邊澤山田
睦夢美奏樹菜々一沙淳央綾大愛愛仁 晃 香良瑞瑞真勇英裕春太隼泰拓 夕陸妃愛 透大茉
貴葉織子里香雲樹也貴乃生華子哉輔里花鈴太香生博輔斗樹人陽斗介郎心奈也来奈 光唯輝子

矢森村水平樋坂根中田田武高高多関菅白莊下椎佐佐佐坂齋齋近駒小桑木河風落小梅内入猪井荒天安
川下山澤間口内本川村中田橋木賀口原井司鳥谷藤藤藤間爪藤藤渡田池原村内間合川澤田澤俣上川井倍
拓七菜恒未利果花小も綾季胡大奈 一康晴朱まり千 百美すみ 明日花輝雅も奈愛帆未和音蒼夏生都音
武峻海子誠歩子林音鈴こ乃子未志々碧真誠翔理ん優遙絢花薫れ充花輝雅も奈愛帆未和音蒼夏生都音

渡渡若横柳森三中堀西永富土塚蝶知田田田高高須斎近小藏熊轡木河加落小茨岡稲稲石五十安阿 9組 (41名) 和
部辺林野下川 村井山田樫屋本林野邊邊中橋橋田藤藤泉田木田下内藤合澤原本見見塚智啓竜 田
聖楓加奈子太々希来水海志璃太斗也登士模紀貴樹涼人人也 悠唯優 虎之介太輝人秀元実也也 琉太朗哉伍也 希
宙晃拓哉雅子

渡渡山山山村三星平林長谷川羽野西西坪坪塚近田谷高高新佐坂近權國北加片小井石石幾五十浅青 10組 (42名)
邊邊本宮田山村 山 川 賀本川谷川野山村 橋久保藤爪藤平分村藤桐川上川川野風井山
珠真香健加俊太 凜惠伶彰温大梨僚実侑成翔大優柚翔紫杏 利稜康 奨 実美富智広友祐 奈
翼緒吾奈斗帆 太郎想 太郎皇俊大雅花哉花加恭理和樹衣大月香瞬香 平優也檀華紅 也 瑛夢香太遼央

和若吉谷八宮宮宮松堀福深平肥田馬灰南中中中土田高鈴杉清柴佐佐轡酒齊近小桑神笠小伊一石阿 11組 (42名)
田山野内木田島 井真原澤野野場野場村野島田村山木崎水澤藤藤田井木藤林野田原野藤箭塚部
葉宏千瑛里眞大將梨由 悠太裕奎明実純 永利真優 万由優 公 日颯昭智花貴野夏千史凜誉笑
都樹世里奈緒生子樹太夏美蒼希一斗樹綱咲大秀央希馬陽里佳太開平豪和太之大之音子杏実尋佳郎大里

令和元年八月三十一日現在

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

会費納入状況

◎入会金

全日制70回生 423名
423,000円

◎終身会費

全日制70回生 423名
2,115,000円

◎合計 2,538,000円

創立100周年 記念事業について

来る2021年、母校新潟明訓高等学校は創立100周年を迎えます。

この記念すべき年に向け、昨年4月に同窓会・保護者会・学校の三者が集まり、創立100周年の記念事業準備委員会を立ち上げました。その中で、どんな記念事業ができるかを模索して参りました。

6月・11月・1月に実行委員会を開催し、次の記念事業を実施する方向でまとまりました。

創立100周年記念事業

1. 教育環境整備

明訓の歴史資料の展示及び収蔵、放課後・休日などにおける生徒の学習スペース、同窓会活動の拠点などの機能を有する明訓記念会館の建設

2. 記念式典・記念講演会

3. 創立100周年の記念誌の発行

4. 明訓高校同窓会名簿

大正10年9月、好学の念に燃えた勤労青年が集まり、自らの手で開設したという全国でも稀な成り立ちを持つ本校は、これまでに3万名余りの卒業生を輩出しております。これまでの100年を振り返り、これからの100年を見守るという考えに立ち、この

記念事業を成功させたいと考えております。

同窓の皆様、明訓の日頃の活動にご賛同いただいております皆様におかれましては、是非この事業の実施にご理解を賜り、募金のご協力をお願いするものであります。つきましては、「趣意書」をお読みいただき、募集方法等をご確認いただきたいと思います。

同窓会員の皆様には、今後、趣意書・募金振込用紙等をお送りいたしますので、ご協力いただければ幸いです。

今後、随時進捗状況を、同窓会ホームページを通じてお知らせいたします。

ご注意ください！

部外者が、実行委員会や学校職員の名を騙り、寄付金を詐取しようとする事例が見られます。ご協賛にあたっては、必ず「趣意書」内記載の指定口座にお振込をお願いいたします。

お問い合わせ先

新潟明訓高等学校創立100周年記念事業
実行委員会事務局

新潟市江南区北山1037番地新潟明訓中学校・
高等学校内 電話 (025) 257-2131 (代表)

平成30年度会務報告

1 会 議

(1) 総 会

平成30・10・27（土） 16:00
於…ANAクラウンプラザ
ホテル新潟
・アトラクション
・懇親会 17:17
30:00

(2) 常任委員会

令和元年・6・6（木） 18:30
於…ANAクラウンプラザ
ホテル新潟

令和元年・10・2（水） 18:30
於…ANAクラウンプラザ
ホテル新潟

(3) 役員会

平成31・4・26（金） 19:00
於…じよいあす新潟会館

令和元年・9・19（木） 19:00
於…じよいあす新潟会館

2 その他

平成30・10・20（土） 13:00
於…ホテルグランヴィア大阪
・関西新潟明訓会
平成30年度懇親パーティー

平成31・2・21（木） 19:00
於…ホテルオークラ新潟
・新年懇談会…学校管理職及び担当職員の方々を招いて開催

同窓生の皆様へ 登録情報の変更はお済ですか？

引越しや結婚などで住所や名前に変更があった場合は、事務局までお知らせください。登録台帳を更新いたします。「情報変更フォーム」から登録変更連絡が行なえます。事務局あてのTELでもお受けしています。

<https://meikun-dousoukai.securesite.jp/form/>

- ご本人確認のため、折り返しご連絡させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ご家族などが代理入力する場合は、本人の許可をご確認のうえお願いします。許可を得ずに発生したトラブルは、本会は責任を負いません。
- お送りいただきました情報は新潟明訓高等学校および同窓会からのお知らせに利用させていただきます。

パソコン・スマホ対応
同窓会ホームページから
アクセス！

